

新出题基准
日语能力考试
综合习题集
①级语法对策篇

(日) 目黑真实 著

外语教学与研究出版社

新出题基准

日语能力考试 综合习题集

①级语法对策篇

(日) 目黑真实 著

外语教学与研究出版社
北京

京权图字 01 - 2005 - 5177

图书在版编目(CIP)数据

日语能力考试综合习题集. 1 级语法对策篇 / (日) 目黑真实著. —北京: 外语教学与研究出版社, 2005. 6

(新出题基准)

ISBN 7 - 5600 - 4970 - 2

I. 日… II. 目… III. 日语——语法—水平考试—习题 IV. H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2004) 第 069886 号

出 版 人: 李朋义

责任编辑: 刘宜欣

封面设计: 孙莉明

版式设计: 路丽佳

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京市鑫霸印务有限公司

开 本: 787×1092 1/16

印 张: 14.25

版 次: 2005 年 9 月第 1 版 2005 年 9 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 7 - 5600 - 4970 - 2

定 价: 21.90 元

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

前書き

この『文法総合問題集 1級編』は大きく助詞相当文型と助動詞相当文型に分け、それぞれが機能別に項目立てられています。

従来の文法対策問題集は、出題頻度によるか、或いは出題基準のリスト順にかかわらず、項目の導入がバラバラとなっていたため、学生たちの頭の中が整理がつかず、混乱してしまっているケースが多く見られました。文法が覚えられないとか、理解が難しいとかいう学生は、この文法の体系化作業が頭の中でされていない場合が多いのです。

能力試験対策という観点から言って、一番効率的なのは似た機能を持った文型をグループ別に、丸ごと一文型一例文を覚えてしまうことです。実際の授業の経験から言っても、機能別に項目立てられていれば、必要な文法項目を短期間で学ぶことができますし、定着もいいことが証明されています。そのため、この問題集の元になった『機能別日本語表現文型辞典』を、更に教室でも使いやすいように、暗記用の例文も短くし、例文作成部や類義文型の使い分け練習を加えたのが、この『文法総合問題集 1級編』です。

仮に、日本語能力試験に、今後同じグループに属する類義文型の使い分けまで問題にする出題がされるとしても、この総合問題集は類義文型の使い分けが取り上げられていますから、十分対応できるでしょう。

では、この『文法総合問題集 1級編』がみなさんのお役に立つことを祈って。

目黒真実

一 前言

本书《日语能力考试综合习题集—1级语法对策篇—》大致分为起助词作用的日语句型和起助动词作用的日语句型两大部分，在这两个部分中又根据日语句型的功能进行了分类。

在以前的语法习题集中，语法项目无论是按照在试卷中出现的频率高低排列，还是按照考试大纲中的顺序排列，都显得杂乱无序，常常导致学生思路不清、混淆了各种语法现象。学生之所以觉得语法难以记住，或者是难以理解，大多是因为没有在头脑中根据功能将这些语法项目体系化。

从能力考试的对策这一观点来说，最有效的就是把具有相似功能的句型进行归类，根据句型功能同时记忆句型和例句。实际的授课经验也证明了与以前的语法习题集相比，如果根据功能将句型分类，能够让学生在短期内学会并牢固掌握必要的日语句型。为了在课堂上更方便地使用这本书的原型《功能日语句型精解》（外语教学与研究出版社，2004），我缩短了用于背诵的例句，增加了完成句子、区别类似句型的练习，编成了本书——《日语能力考试综合习题集—1级语法对策篇—》。

即使以后的日语能力考试中出现区别同一类中的相似句型的考题，读者通过学习本书，也能对这样的试题应对自如。

最后，期望这本《日语能力考试综合习题集—1级语法对策篇—》能对诸位读者有所帮助。

目黑真实

凡例

=: 同義

≡: 類義

⇔: 入れ替え可能

≠: 不同

○: 使える

◎: もっともよく使われる

×: 使えない

N: 名詞

V: 動詞

ナ形: 形容動詞

イ形: 形容詞

原: 原形

普通形: 連体形・終止形

形の語幹: 形容詞・形容動詞の語幹

目 录

I 部 I 助詞に相当する表現文型（1級編）

01 2級格助詞の総復習（格助詞関係）	1
02 1級の格助詞（格助詞関係）	6
03 「は」や「も」のグループ（係助詞関係）	10
04 限定や非限定のグループ（副助詞関係）	14
05 程度や強調のグループ（副助詞関係）	18
06 列挙や添加のグループ（副助詞関係）	22
07 例示や比較のグループ（副助詞関係）	26
08 選択や除外・無関係のグループ（副助詞関係）	30
09 「とき」と状態に関係する2級文型（接続助詞関係）	34
10 前後や期間を表すグループ（接続助詞関係）	38
11 同時や並行のグループ（接続助詞関係）	42
12 様子や状態のグループ（接続助詞関係）	46
13 「～から」（理由）のグループ（接続助詞関係）	50
14 「～ので／～て」（理由）のグループ（接続助詞関係）	54
15 目的と結果のグループ（接続助詞関係）	58
16 条件のグループ（接続助詞関係）	62
17 「～けれども」（逆接）のグループ（接続助詞関係）	66
18 「～のに」（逆接）や対比のグループ（接続助詞関係）	70
19 「～ても」（逆接）のグループ（接続助詞関係）	74
20 接尾語のグループ（接尾語関係）	78

II 部 II 助動詞に相当する表現文型（1級編）

21 意志・希望や義務のグループ	84
22 不必要や禁止のグループ	88
23 依頼や勧告・許可のグループ	92
24 断定や推量・見なしのグループ	96
25 限定や非限定・婉曲のグループ	100
26 可能や難易のグループ	104
27 感嘆や自発・自然のグループ	108
28 程度や評価のグループ	112
29 強制や不本意・意外のグループ	116
30 状態や傾向のグループ	120
31 その他	124

III 部 III 総合練習問題（1級編）（第1回～第8回）

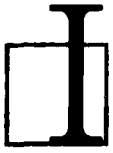
129

IV 部 IV 資料&類型文型の整理（2級）

163

<資料1>動詞の敬語形と謙讓形	164
<資料2>敬語動詞一覧表	165
<資料3>形から見た類型文型（2級）の整理	167

解 答	183
総索引	209



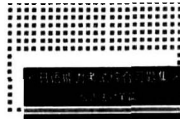
部

助詞に相当する表現文型

— 1 級編 —

△国についている文型は、国際交流基金・日本国際教育協会が公開した日本語能力試験の1級の出題基準には掲載されていませんが、過去に出題されたことがあるもの、また将来出題される可能性があるものです。

- 01 2級格助詞の総復習 (格助詞関係)
- 02 1級の格助詞 (格助詞関係)
- 03 「は」や「も」のグループ (係助詞関係)
- 04 限定や非限定のグループ (副助詞関係)
- 05 程度や強調のグループ (副助詞関係)
- 06 列挙や添加のグループ (副助詞関係)
- 07 例示や比較のグループ (副助詞関係)
- 08 選択や除外・無関係のグループ (副助詞関係)
- 09 「とき」と状態に関係する2級文型 (接続助詞関係)
- 10 前後や期間を表すグループ (接続助詞関係)
- 11 同時や並行のグループ (接続助詞関係)
- 12 様子や状態のグループ (接続助詞関係)
- 13 「～から」(理由)のグループ (接続助詞関係)
- 14 「～ので／～て」(理由)のグループ (接続助詞関係)
- 15 目的と結果のグループ (接続助詞関係)
- 16 条件のグループ (接続助詞関係)
- 17 「～けれども」(逆接)のグループ (接続助詞関係)
- 18 「～のに」(逆接)や対比のグループ (接続助詞関係)
- 19 「～ても」(逆接)のグループ (接続助詞関係)
- 20 接尾語のグループ (接尾語関係)



01 2級格助詞の総復習

格助詞関係

まず、中級格助詞の総復習から始めましょう。忘れていた文型があれば、ここで確実にマスターしておきましょう。1級日本語能力試験には2級相当の文法項目が含まれます。以下は、『文法総合問題集 2級編』（《日语能力考试综合习题集—2级语法对策篇—》，2005，外研社）に準拠しています。

1 内容や対象

- ～について（は／のN）／つき
- ～に^{かん}関して（は）／関^{かん}し／関^{かん}するN
- ～を^{めく}めぐって／めぐり／めぐるN
- ～に^{たい}対して（は）／対^{たい}し／対^{たい}するN
- ～に^かかけては
- ～に^かかけて（も）
- ～を^{ちゅうしん}中心^{しん}-に（して）／として

- 環境問題^{かんきょう しょうもん}について小論文^{しょうろん ぶん}を書いた。
- 教育^{きょういく}に関する^{しよ}諸問題^{しよ}を討議^{とうぎ}した。
- 消費税^{しょうひ ぜいどうにゅう}導入^{さんび}の賛否^{ざんひ}をめぐって議論^{ぎろん}が白熱^{はくねつ}した。
- 国民^{こくみん}は今回の増税^{ぞうぜい}に対して反対^{さふたい}している。
- 彼は英語^{えいご}にかけては、学内^{がく内}で一だ。
- 命^{いのち}にかけても私はあなたを守る。
- 世界^{せかい}は君^{きみ}を中心に回^{まわ}っているんじゃない。

2 場所や範囲

- ～に^おおいて（は）／^ににおけるN
- ～の下^{もと}で（は）／～の下^{もと}に（は）
- ～上^{じょう}（は／のN）
- ～から～にかけて（のN）
- （～から）～に^{わた}って／わたるN
- （～から）～に^{いた}至^{いた}るまで／至^{いた}るN
- ～を^{つう}通^{つう}じて（のN）

- 遺伝学^{いでんがく}において、彼は日本^{にっぽん}の第一人者^{だいいちにんしや}だ。
- A教授^{きょうじゆ}の指導^{しどう}の下で、卒論^{そつろん}を書き上げた。
- 理論^{りろん}上^{ただ}は正しいが、行動^{こうどう}が問題だ。
- 日本^{にっぽん}は6月から7月にかけて梅雨^{つゆ}の季節^{きせつ}だ。
- 和平交渉^{わへいこうしやう}は、三日間^{おこな}にわたって行われた。
- 子供^{こども}から老人^{らうじん}に至^{いた}るまで。
- この地方^{このちほう}は一年^{いちねん}を^{あつ}通^{あつ}じて暑い。

3 立場や視点

- ～として（は／のN）
- ～に^とって（は／のN）／とり
- ～に^ししたら／すべ^ば／してみれば
- ～から^い言^いうと／言^いえ^えば／言^いって
- ～から^み見^みると／見^みれば／見^みて

- 人^{ひと}として、恥^はずかしくない行^{こう}為^いをしなさい。
- この資料^{しりょう}は我^{われ}々の研究^{けんきゆ}にとつて、重要^{じゅうよう}だ。
- 彼^{かれ}にしたら、さぞ悔^{くや}しかったことだろう。
- 社員^{しやくいん}から言^いうと、給料^{きゅうりやう}は高いほどいい。
- 筆跡^{ひつせき}から見^みて、彼^{かれ}が書^かいたものに違^{ちが}いない。

～から-すると／すれば／して

～から-して

- プロからすれば、私の技術はまだ未だです。
いちりゅう そうしや えんそう
- 一流奏者の演奏は、音からして違う。

4 対応や根拠

～に-よって (は) /より/よる N

～に-応じて／応じた N

～に-応えて／応えた N

～次第-で (は) /だ

～に-よると／よれば

～ところに-よると／よれば

～に-基づいて／基づく N

～を-もとにして／もとにした N

- 長髪は校則によって禁止されている。(根拠)
ちようはつ こうそく きんし
- 話し合いによって解決しよう。(方法)
かいけつ
- 国によって文化も習慣も違う。(対応)
ぶん か しゅうかん
- 地震によって家が壊れた。(原因・理由)
じしん こわ
- 「雪国」は川端康成によって書かれた。(受身)
ゆきくに かわばたやすなり
- 相手の出方に応じて戦法を考える。
あいて でかた せんぽう
- 群衆の歓呼に応じて、首相は手を振った。
ぐんしゅう かんこ ししやう ふ
- 天候次第で、農作物の出来不出来が決まる。
てんこう のうさくぶつ で き ふ で き
- 天気予報によると、午後から雨らしいです。
てんき よほう
- 聞いたところによると、部長が辞めるらしい。
きいたところによると、部長が辞めるらしい。
- それは科学的根拠に基づいた話ですか。
かがくてきこんきよ
- 資料をもとにして議論する。
しりょう ぎろん

5 経由や起点・基準

～を-通して／通した N

～を-通じて／通じての N

～を-経て／経た N

～に-そ (沿・添) って／そう N

～より

～を-きっかけに (して／する)

～を-契機に (して／する)

～に-つき

- インターネットを通して情報を得る。
じようけつ
- 旅行代理店を通じて切符を予約する。
りょこうだいりてん きつ ぶ よやく
- 幾多の苦難を経て、彼はついに成功した。
いくた
- なるべく御希望にそえるよう、努力します。
ごきぼう どりよく
- 本日五時より、生徒総会が開かれる。
ほんじつ せいと そうかい
- 些細なことをきっかけに、喧嘩が始まった。
ささい けんか
- 退職を契機に、田舎でのんびり暮らそう。
たいしよく いなか
- 時給は一時間につき千円です。
じきゅう

●問題1 最も適当なものを選んで、文を作ってください。

- 1) この賞は、長年^{しょう}にわたり福祉活動^{ちゅうねん}に貢献^{ふくし}した人^{かつどう}_____贈^{こうけん}られるものです。
1 について 2 にとって 3 にたいして 4 として
- 2) 私は中東^{ちいせ}地域やイスラム世界のこと_____, もっと学びたいと思っている。
1 にかんして 2 にとって 3 にたいして 4 として
- 3) あの二人は京子さん_____恋敵^{こいあだ}であるが、仕事^{じゅう}上でもライバルである。
1 にたいする 2 にかんする 3 をめぐる 4 による
- 4) 地震^{ひが}の被害^{こう}は、神戸^べ_____京阪神^{けいはんしん}地方^ち全域^{ほうぜんいき}に及^{およ}んだ。
1 のもとに 2 をちゅうしんに 3 をめぐって 4 をつうじて
- 5) 我が社^わは、お客様^{きやくきさま}のニーズ_____製品^{せいひん}の開^{かい}発^{はつ}に一層^{いつそうつと}努^{そん}めてまいりたいと存^{ぞん}じます。
1 における 2 をめぐる 3 にこたえる 4 におうじる
- 6) 餃子^{ぎょうざ}づくり_____, 俺^{おれ}の右^{みぎ}に出^でる奴^{やつ}はそうざらにはいないよ。
1 について 2 によって 3 にとって 4 にかけては
- 7) 幼^{おきな}くして両親^{りやうしん}を失^うった彼女^{かのじょ}は、叔母^{おば}_____育^{そだ}てられた。
1 において 2 にこたえて 3 のもとで 4 にもとづいて
- 8) プロの名^な_____, 素人^{しらうと}なんかには負^まけられない。
1 にかんして 2 にかけては 3 にかけても 4 にとって
- 9) 塩分^{えんぶん}の取りすぎは健康^{けんこう}_____よくないので、薄味^{うすあじ}にしています。
1 ちゅう 2 じょう 3 のもとで 4 めん
- 10) ただ今^{とうめいこうそくどう}、東名高速道路^{はなまつ}は浜松^なから名古屋^{ごや}_____, ところどころ渋滞^{じゅうたい}となっております。
1 からみて 2 にかけて 3 において 4 にわたって
- 11) いよいよ本日^{けふ}から一週間^{いっしゅうかん}_____世界陸上^{せかいりくじょう}の幕^{まく}は切^きって落^おとされました。
1 にかけての 2 にわたる 3 におうじる 4 にたいする
- 12) 昨日^{けふ}は犯人^{はんじん}扱^{あつか}いされた上に、職業^{しよくぎょう}から私生活^{しせいかつ}_____根^ねほり葉^はほり聞^きかれた。
1 をつうじて 2 にかけて 3 において 4 にいたるまで
- 13) 今度^{きかく}の企画^{けいかく}は、留学生^{りゅうがくせい}がホームステイ_____日本^{にっぽん}の文化^{ぶんか}に触^ふれられるいい機会^{きかい}です。
1 をとおして 2 をめぐって 3 において 4 にそって

- 14) 90年代^{ねんだい}____、日本経済はバブル崩壊^{けいざい}の痛手^{ほうかい}から立ち上がり^{いた}ず、低迷^{ていめい}を続けた。
- 1 にかけて 2 にわたって 3 をつうじて 4 をきっかけに
- 15) 留学生^{りゅうがくせい}____言わせていただければ、日本はまだまだ「開かれた社会^{ひら}」とは言えないと思います。^{しゃかい}
- 1 からして 2 として 3 にすれば 4 にとって
- 16) パソコンは、私^{べんり}____便利な文房具^{ぶんぼうぐ}のようなものです。
- 1 によれば 2 にかんしては 3 にとっては 4 としては
- 17) 父^{ちやうたい}____、私が大学を中退^{しゅうたい}したことに色々不満^{いろいろうふまん}があることだろう。
- 1 からみて 2 にたいして 3 にしたら 4 によって
- 18) わかりました。なるべくご希望^{きぼう}____よう、努力^{どりよく}いたします。
- 1 にたいする 2 にそえる 3 にもとづく 4 による
- 19) 年齢^{ねんれい}____、もう結婚^{けっこん}していてもおかしくない歳^{とし}だが、一向^{いっこう}にその気^きがないらしい。
- 1 にもとづいて 2 からいえば 3 にしたら 4 にかけては
- 20) 教師^{きょうし}____遅刻^{ちこく}してくるとは、なんと乱れた学校^{みだ}だ。
- 1 からして 2 にすれば 3 からすれば 4 によれば
- 21) 専門家^{せんもんか}の予想^{よそう}____、21世紀には東アジアに経済共同体^{きやうきどうたい}が生まれている可能^{かのう}性^{せい}が高いということだ。
- 1 によって 2 によると 3 どおり 4 しだいで
- 22) 道路^{どうろ}の状況^{じやうきやう}____では、そちらに着くのが少し遅れる^{すこおく}かもしれません。
- 1 によって 2 しだい 3 じよう 4 のもと
- 23) ニュー・ミュージックには、クラシック音楽^{おんがく}の曲^{きよく}の一部____ものも多い。
- 1 におうじた 2 にそった 3 にもとづいた 4 をもとにした
- 24) この大学は、キリスト教^{きりすと}の信条^{しんじやう}____設立^{せつりつ}されました。
- 1 をめぐって 2 をきっかけに 3 にもとづいて 4 をもとにして
- 25) 当店^{とうてん}では、お客さまのご予算^{よさん}____、料理^{りょうり}をご用意^{ようい}いたします。
- 1 をつうじて 2 におうじて 3 をもとにして 4 にこたえて
- 26) クラブの合宿^{がっしゅく}で志賀高原^{しがこうげん}に行ったの____、私は登山^{とざん}に興味^{きやうみ}を持つようになった。
- 1 をめぐって 2 にこたえて 3 をきっかけに 4 にそって

02 1級の格助詞

格助詞関係

～にあって (は)

置身于……，在……，即使在……也……

☆ N

☆ ≡において

人身売買は過去にあっては普通のことだった。

この戦時下^{せんじか}にあって、餐沢^{はんたく}は敵だ。

この高度情報社会^{こうとじょうほう}にあっては、パソコンが使えないことには_____。

いつどこにあって、私は君のことを_____。

△ ～にて／△ ～でもって

用……，以……，……为止

☆ N

☆ ≡で (書面語に属する)

私はこれにて失礼いたします。

拍手^{はくしゅ}でもって二人^{ふたり}を迎えましょう。(方法)

本日^{ほんじつ}でもって、退社^{たいしゃ}することになりました。(期限)

今日の会議は、これにて (⇒でもって)_____。

話し合いでもって (⇒にて)、_____。(方法)

～にして／～にして、はじめて～(ら)れる

以……才能……，既是……又是……

☆ N

☆ ≡で／でも／であって

ローマは一日^{いちにち}にして成らず^な。

これは彼にして、はじめてできることだ。

かれ せいじか けいけん ひつよう と
彼は政治家にして、かつ敬虔な仏教徒でもあった。

優秀^{ゆうしゅう}なA君にして_____問題が、君なんか^とに解けるはずがない。(⇒でも)

こうしいわ われ
孔子曰く。「我、四十にして_____ (四十而不惑)。(⇒で)

△ ～如何^{いかん}・で (は) △ / によつては

要看……如何，取决于……

☆ N・X／の

☆ ≡によって／次第^{しだい}で

ごうり きみ とりよく き
合否は、君のこれからの努力如何で決まる。

かいしゃ しゅうしょく きゅうりょう
その会社に就職するかどうかは、給料如何だ。

てんこう
明日の天候如何では、_____。

げんそく けっせき みと じじょう
原則として欠席は認めないが、事情の如何によっては、_____。

～を-もって/～をもって-すれば/しても

用……, 以……, 只要用……,

即使用……也……

☆ N

何事も身をもって体験することが大切だ。

本日をもって閉店いたします。

君の実力をもってすれば、A校合格は確実だ。

試験の結果については、後日、書面をもって_____。

現代医学をもってすれば、結核は容易に_____。

現代医学をもってしても、まだエイズは_____。

☆ 手段(しゅだん)に用いることが多い

～に-即(そく)して/～に照らして/～を-踏まえて

根据……, 基于……,

按照……, 依据……

☆ N

実情に即した解決策を探る。

原簿に照らして間違いがないか調べる。

個々の事情を踏まえて方針をたてる。

君の意見は後先を踏まえ、単なる_____に過ぎない。

マスコミは、_____に即した報道をするべきである。

☆ 根据(もと)に基(こん)づいて(根拠)

～を皮切りに(して/する)

以……为开端

☆ N

東京を皮切りにA社は全国に支店網を広げた。

彼を皮切りにのど自慢達が次々に歌い始めた。

彼の発言を皮切りに、多くの人が次々に_____。

今日を皮切りに、三日間、この神社のお祭りが_____。

☆ ～を(一連の物事の)初めにして

～を限りに/～限りで

……为止, 以……为限

☆ N

今場所を限りに(≠限りで)相撲界を引退します。

今日を限りに(≠限りで)辞めると部長に怒鳴られた。

声を限りに(×限りで)「助けて!」と叫んだ。

今日を限りに、酒もタバコも_____と思っています。

この映画館は本日限りで_____。

☆ ～を最後に/～の限界まで



問題 1

使えるものを選んで、文を完成させてください。
ただし、複数使える場合があります。

にして／において／にあって／でもって／をもって

- 1) これ_____私の挨拶を終わります。
- 2) 学生には厳しさと同時に、愛情_____接することが大切だ。
- 3) 多くの人たちの援助_____、この国際交流会館は建てられました。
- 4) このような偉業は、彼_____はじめて成し遂げることができたのだ。
- 5) 深刻化する不況下_____、多くの企業が倒産している。
- 6) ソウル_____、サッカー・ワールドカップが開催された。
- 7) 先着 100 名_____応募者を締め切らせていただきます。
- 8) 全員の協力_____すれば、必ずこの困難を克服できるはずだ。
- 9) 彼はどのような逆境_____も、自分の夢を捨てることはなかった。
- 10) それは国語教師_____読みとれないほどの難解な文章であった。

類義表現の解説

1. 「で」のグループ

		にて	において	にあって	をもって
		でもって			
公園（ ）遊ぶ。	<場所>	○	○	×	×
逆境（ ）も希望を捨てない。	<場所>	○	○	◎	×
ペン（ ）書く。	<方法>	○	×	×	○
木と紙（ ）できた家。	<材料>	○	×	×	○
野球は九人（ ）一チームだ。	<基準>	○	×	×	○
明日（ ）公演は終了です。	<期限>	○	×	×	○
風邪（ ）休む。	<原因>	○	×	×	×
冗談（ ）言ったのではない。	<状態>	○	×	×	×

〈注〉◎もっともよくつかわれる ○使える ×使えません

2. 「～において」と「～にあって」

「～にあって」は「自らの身が～に在って」という意味を表し、格助詞「で」や「～において」に置き換えることができます。しかし、「～にあって」は特別な状況や場面を表すので、場所を客観的に叙述するときは使えません。例えば、下の例ですが、(1)では「～にあって」が使えず、(2)のようにどちらも使える場合も、「～において」は客観的叙述、「～にあって」は話者自身が現代という時代に生きていて、その筆者の実感を述べる表現となります。

(1) 今日講堂で (⇒において/×にあって)、全校討論会が開かれます。

(2) 現代では (⇒においては/⇒にあっては)、男女平等は時代の趨勢です。

問題2 最も適当なものを選んで、文を作ってください。

- 1) 本日講堂^{ほんじつこうどう}_____^{せい と そうかい}生徒総会が開かれますので、みなさん参加してください。
 1 をもって 2 において 3 にとって 4 にあって
- 2) いかなる苦境^{くきよう}_____^{みうしな}、希望を見失わないことだ。そうすれば必ず活路^{かつろ}はある。
 1 いかんでも 2 にたいしても 3 にあっても 4 にして
- 3) どうするかは、先方^{せんぽう}の出方^{でかた}_____^{ちようせん}によって考えようじゃないか。
 1 しだい 2 いかん 3 かいなか 4 やいなや
- 4) その程度の力^{ちようせん}_____^{しあわ}、私に挑戦^{せんせん}したいなど言うのは、10年早いよ。
 1 を限りに 2 でもって 3 において 4 にあって
- 5) この年_____^{はんざつ}初めて、私は幸せとは煩雑^{はんざつ}とも思える家族生活の中にあると知らされましたよ。
 1 をもって 2 にあって 3 にして 4 において
- 6) 山で迷^{まよ}って行方不明^{ゆくえふめい}になった娘の名前を、父は声_____^{さが}呼びながら探し回った。
 1 を限りに 2 限りでは 3 限りで 4 に限って
- 7) 長らくご愛顧^{あいこ}いただきましたが、本店は今月_____^{ほんてん}閉店^{へいてん}することになりました。
 1 に限らず 2 限りでは 3 限りで 4 に限って
- 8) 新しい国際情勢^{こくさいじょうせい}_____^{にほんこくけんぽう}、日本国憲法を改正^{かいせい}することが急務^{きゅうむ}となっていると存じます。
 1 にそくして 2 をきっかけに 3 をもって 4 にして
- 9) 彼女は処女作^{しよじょさく}である小説^{しょうせつ}「〇〇〇〇」_____^{ぶんだん}、次々に文壇に新作を発表した。
 1 をかわきりに 2 をきっかけに 3 でもって 4 を限りに
- 10) 彼は築き上げた財産^{ざいさん}も、一瞬^{いっしゆん}_____^さ消え去った。
 1 として 2 にあって 3 にして 4 をもって
- 11) 空手五段^{からて}の彼_____^{からて}、その老人に勝てなかった。
 1 いかんによって 2 いかんにかかわらず
 3 をもってすれば 4 をもってしても
- 12) 彼の才能^{しょうらい}_____^{おんがくかい}、まちがいなく近い将来に音楽界の第一人者^{だいいちにんしゃ}になることだろう。
 1 いかんによって 2 いかんにかかわらず
 3 をもってすれば 4 をもってしても

03 「は」や「も」のグループ

係助詞関係

「は」や「も」に相当する2級文型の整理

- ～というのは ■ 東大^{とうだい}というのは東京大学のことだ。
- ～というものは ■ 戦争^{せんそう}というものは、残酷^{ざんこく}なものです。
- ～というとは ■ 二十日^{はつか}というとは、確か^{たし}火曜日^{かようび}でしたね。
- ～といえば／～ってば（口語） ■ 李君^{リーくん}といえば、卒業^{そつぎょう}以来^{いらい}、会^あっていないなあ。
- ～といったら／～ったら（口語） ■ 君^{きみ}の部屋^{へや}といったら、ずいぶん汚^{きた}いねえ。
- ～さえ ■ 腰^{こし}が痛^{いた}くて、じっとしているのさえ辛^{くる}い。

～と-きたら

提起……来，说起……来

☆ N（注：稀に動詞・形容詞接続の例）

☆ 〓は（非難や輕蔑の感情）

この部屋^{へや}の汚^{よご}れようときたら、まるでゴミ箱ね。

この自動販売機^{じどうはんばいき}ときたら、おつりが出てこない。

うちの子ときたら、遊^{あそ}んでばかりで_____。

最近^{さいきん}の若者^{わかもの}ときたら、_____。

～とは

……就是……，竟然会……

☆ 普通形＜ナ形(だ)／N(だ)＞

☆ ① というのは

② 驚^{おどろ}きの感情で（〓は）

忘却^{ぼくわく}とは（〓というのは）忘れ去ることなり。

こんな簡単^{かんたん}な問題^ももできないとは、呆^{あは}れたね。

彼女^{かのじょ}、16歳^{さい}なのに結婚^{けっこん}しているとは驚^{おどろ}いた。

スケートがこんなに難^{むず}しいとは_____。

パソコンで自動翻訳^{じどうほんやく}できるとは、ずいぶん_____。

△ ～には／△ ～におかれましては

在……来说……，关于……的情况

☆ N

☆ 〓は（最上級の敬意を表して）

父上^{ちちうへ}には御健勝^{ごけんしょう}の由^{よし}、何^{なに}よりのことと存^{ぞん}じます。

天皇陛下^{てんのうへい}におかれましては、別室^{べつしつ}にてお休みです。

_____にはお変わりもなく、心からお喜^{よろこ}び申し上げます。

社長^{しゃちょう}におかれましては、ただ今、_____中^{ちゆう}でございます。